

笠原小学校在校生・未就学 意見・提案等 記入用紙 回収結果

1. 配布件数 59 件（在校生児童数） 未就学保護者 14 件
2. 回収件数 16 件（在校生 13 件、未就学 3 件）

主な意見 ※（）内は、発言した保護者の子の学年 等

【スケジュールについて】

5 年生は卒業したいと言っている。

2 年生は友達が増えるのが楽しみと言っている。

皆一緒に鴻巣中央小学校に行かせたい。（2 年・5 年）

統廃合が決定しているなら、早急に進めてほしい。（5 年）

早めに鴻巣中央小学校との統合を希望する。結果行くことになるなら少しでも早い方が
良い。R3 年度から希望する。

例えば、3、4 年生で下に兄弟がいない場合は笠原小学校での卒業を希望すると思うが、
最後 1 学年だけになってしまったら可哀想。絶対に避けてほしい。

2 年前に交流会を開いてからあっという間に時間が過ぎてしまった。

（2 年・4 年）

統廃合については、なるべく早く進めてほしい。令和 3 年からでもいい。（4 年）

少人数でも笠原小学校に通わせたかったが、本来なら下級生が入ってきて上級生になっ
ていく中で成長していけるだろうことが、1 年生が入らなかったことで、成り立たないと
思っている。1 年生を 0 にしたのだから、早く合併すべき。廃校が決まっているのなら
なおさら。子どもはすぐに慣れるので少しでも早い方が良い。転校生は準備期間などな
く、1 人や少人数でも飛び込む。しかも学期の途中という事もある。約 50 人で新年度
に行けるのだから、転校生と比べたら心強いと思う。

また新一年生に同じ思いをさせるのか？新一年生が入学しなかったら、残された子供た
ちはどうなるのか。

4 年生も 1 年間と 2 年間では全然違う。少しでも早い方がいい。（2 年・4 年）

学校がなくなったら、この辺りに住もうという人はいなくなる。どんどんと高齢者だけ
になっていくのではないか。（2 年・4 年）

廃止の方針が決定しているのならば、来年度から統合が良い。学年により様々な意見があるのは承知しているが、人数が年々減っていくのに存続を先延ばしする事はない。早めの対応をしてほしい。子どもにとって最良の選択を。 （3年）

次の春からでも良いと思う。準備期間の間に交流事業で合唱や体育をやらせてもらいたい。少人数では味わえない合唱のハモリも体験させたい。 （3年）

【送迎について】

通学 2 キロ圏内。今現在も歩道が狭くて怖い思いをしながら通学している。通学路の整備をお願いしたい。整うまでは送迎も考えてほしい。 （2年・5年）

笠原地区から鴻巣中央小学校まで安全な通学路が整備されていない現状の為、全児童をスクールバスで安全に登下校させてほしい。

登校時だけでなく、下校時も親の負担なく帰宅できるように乗降場所を地区ごとに設定するなど考慮してもらいたい。 （5年）

歩道があるところとないところがあるため、鴻巣中央小学校から 2 キロ以内等の縛りをなくして、全員がスクールバスを利用できるようにしてほしい。 （4年・6年）

スクールバスは必須。毎日送り迎えは保護者の負担が大きい。 （3年・4年）

笠原から鴻巣中央小学校までの道のりは交通量が多くて不安。 （4年）

登校だけでなく、下校の支援をお願いしたい。毎日学童へ迎えに行くことは困難。笠原公民館まで送ってもらえれば歩いて帰ることが可能と思われる。 （4年・未就学）

スクールバスになって、全く歩かないのは不安。笠原公民館に集合してバスに乗るのはどうか。 （2年・4年）

登校の際に、笠原小学校であれば子どもを送り出してから仕事に行けるが、集合場所まで子どもを送ってからとなると、時間的に仕事に間に合わなくなる。 （3年）

スクールバスの送迎を 2 キロの基準にかかわらずお願いしたい。集合場所は、現在の各班の集合場所等、安全に乗り降りできる場所に設置してもらいたい。

下校は、笠原公民館まで送ってほしい。

朝も時間の都合がつかなければ、公民館に集合してバスで送るなど対応してほしい。 （3年）

【跡地の活用について】

グラウンドでのキャンプ。

校舎はデザイナーや芸術を学ぶ人たちのアトリエとして貸し出し、ワークショップ等を行う。（6年）

年配の方々が活用できるような、道の駅を造り、農産物を販売。日帰り温泉施設等、地域のコミュニティが広がる場所を提供できれば良いと考える。（5年）

笠原地区のシンボルとし、地域の衰退を避けるため建物を残し、使ってほしい。（2年・4年）

昼間は地域の方々の交流の場、地場産食材を使用した食堂。高齢者や乳幼児が安心して食事ができ、悩み相談や高齢者が生き生きとできる場。放課後は子どもたちの遊びの場。教室を利用して塾のように学べる場。体育館やグラウンドでのスポーツの場。音楽室での楽器の演奏など地域の方々が先生となり、子どもたちへ伝えていける場。（3年）

80歳でもそこで働けるような複合施設だと地域の活性化にもなる。都会と結ぶホームになったり、教室ごとに貸し出したり、撮影の場所としての利用も。校庭を遊び場としていつでも使えるようにしてもらいたい。地域には格安で。（3年）

現在はバスケットチームとして体育館を利用しているため、今後も継続してほしい。（未就学）

【支援等要望について】

学用品、体操着等、買い替えが必要なものに対しては、補助をお願いしたい。(5年)

笠原小学校の先生と一緒に鴻巣中央小学校に来てもらえれば心強いと思うので、ぜひお願いしたい。

(2年・4年)

小学校残り1、2年だと体操着、上履き、ジャージ等を買う予定がないため、鴻巣中央小学校と同じものを支給してもらいたい。鴻巣北中学校から鴻巣中学校に関しても使いまわしができない。そのまま笠原小学校では、いじめ等の心配がある。(自転車代も)

(2年・3年・4年)

笠原小学校の保護者はPTA役員を何回もやっているの、鴻巣中央小学校では免除してほしい。(2年・4年)

下校については鴻巣中央小学校の放課後児童クラブでは、人数が多く、蜜ではないか。入所できるのか不安もある。放課後児童クラブに関しては現在の笠原公民館を継続してほしい。(3年)

大人数の中に少人数が途中から参加する子どもたちの配慮をお願いしたい。(3年)

ジャージ等の半額補助をお願いしたい。(3年)

イベント等の際には、車で行けるようにしてほしい。(2年・4年)

【交流事業について】

交流が必要との声もあるが、必要ないと思う。ただし、鴻巣中央小学校への見学会等を実施し、不安を軽減できるよう配慮してほしい。(5年)

今年中に鴻巣中央小学校との交流事業を希望する。コロナを理由にしている、話は進まないため、対策をとった上で、早めの対応を希望する。(2年・4年)

特に高学年になって新しい環境になじむことは難しいこともあると思う。せめて4・5年生だけでも、授業で交流できないなら鴻巣中央小学校を見学する機会だけでも作ってほしい。笠原小学校しか知らない子どもたちに、人数の必要な合唱や体育などを見学させてみたい。子どもたちなりに何かを感じると思う。(4年)

【その他】

笠原の現状を考えると学校を維持するのは難しいと保護者は感じているため、出来るだけ早い段階で、今後入学する児童がいる家庭が、笠原か中央かどちらかに進学するのか選べる、考える時間を与えてほしい。

悩む時間があまりない中で、決断をしなくてはならないような家庭を増やしてほしくない。

なぜこの時期に急ぐ必要があるのか。次年度十数名の入学予定者がいる中で、誰のためにこの時期になっているのかはっきりしてもらいたい。

余りにも強引で強硬すぎるスケジュール。良く考えてもらいたい。考えなおしてもらいたい。

適正配置と言いながら、なぜ笠原が？鴻巣中央小学校の方が不適ではないか？中央住民はうるさく、笠原住民はおとなしいからなのか？疑問ばかりで考えられない。

我が子が通ううちに廃校へと向かうことになりショックを受けている。

我が子が入学する際に、同じ幼稚園から一緒に入学予定だった子が、入学説明会ではいなかった、また、今年も入学してくるはずの1年生を心待ちにして準備していたが、周りから入学しないことを聞いて、淋しい思いをさせた。

人数の少ない学校への入学を不安に思う気持ちは同じ親ならよくわかり、自分で行動を起こすことのできた方々には敬意を表す。

学校の適正配置に関しては、急に人数が減って、予定よりも早まったとの説明があったが、この地域は世帯数が増えにくく、昔から1クラスで、いずれ、このような時が来ることは分かっていたはずであるため、もう少し早く取り組んでほしかった。

もっと人数がいるうちに、学区の見直しや統廃合のスケジュールが決まっていれば、住民同士が探り合うことはなかったのではと思う。

鴻巣中央小学校をはじめ、他の学校も大規模とは言えない状況であるため、今のタイミングで、鴻巣市全体の適正配置等について考えてほしい。

笠原小学校は少人数であるため、授業でもみんなが終わるまで待てるような余裕もあり、先生の目もゆき届いて、良い教育環境の中で授業を受けていると感じている。

廃校となってもこの環境が変わってしまうことは望まないが、1クラス8名というのは、少なすぎると思う。一方で、色々な子や意見と触れ合う経験をしてほしいが、1クラス30人は多いかと思う。

毎年先生は変わるが、どの先生も1人1人のことを熱心に考えてくれる。

人数が少ないからこそ出来るのだと思うし、子どももクラス替えがないからこそ、他の子のことを深く理解し、大切に思いながら発言している。

少人数である場合、それぞれ得意分野が決まってしまうがちだが、高学年になると、それ以外のことに目を向けることができ、日替わりのリーダーができる。

他の学校に比べ、先生の負担が大きいと思うが、1つの学校がなくなることで、市には教育に力を入れ、予算の配分を含め、少人数クラスを実現してほしい。
先生方も心の健康を保って、より良いクラス運営をしてもらえれば、安心して通わせることができ、親ももっと頑張れると思う。そのような環境づくりを願う。

笠原小学校を残すという選択があるならば、「市街化調整区域」の範囲を見直し、さらに細かい規定も見直し、もっと家を増やし、子どもの人数を増やしていくことが、学校にとっても地域にとっても活性化に繋がるものと思う。

廃校に反対。前回の通学区域審議会を傍聴したが、今回の対応は無視したやり方で話が違ふ。議会を開催する意味がない。コロナ禍で生活様式が変わる中、少人数での教育を推奨するなど課題も出てきた。テレワークの導入により通勤時間が家庭に費やせる時間となったため、家庭菜園をしたりと田舎で生活したいと言っている声も聴く。
将来の子どものためにも、笠原の住民のためにも今、早急に廃校にするべきではない。

笠原の溝さらいや草刈りをしているのは住民。できれば笠原を高齢者だけの地域にしてはだめだと思う。小学校は残してほしい。

少子化などにより今後、廃校などの問題は尽きない。近い将来他の地域でも同様の問題が出てくる。鴻巣市全体の通学区域の見直しを強く要求する。
同じ税金を払っている以上、どの市民にも平等に扱い、良いまちづくりを願う。

「廃校」というのは、マイナスイメージで悲しいので、「統合」等、子どもが負い目を持たないようにしてほしい。
笠原小学校「廃校」ではなく、「統合」「合併」という言葉にしてほしい。

鴻巣中央小学校から鴻巣中学校への進学となっているが、鴻巣北中学校の生徒数が減ってきているため、鴻巣北中学校も合併してしまうのではないか。
笠原小学校から鴻巣中央小学校へ行った生徒は鴻巣北中学校へ進学という事は出来ないのか。中学校区も見直すべきだと思う。

コロナ禍で少人数授業になっているなら、鴻巣中央小学校から笠原小学校へ人数を分散させる方法は考えないのか。

今まで地域の人や保護者に対して統廃合に関する意見を聞いてきたが、実際に鴻巣中央小学校に通うのは子どもたち。

中学校の選択には、柔軟な対応をお願いしたい。鴻巣中央小学校に通うことになれば、鴻巣中学校への進学を認めてほしい。

廃校は決定したのか。決定までのエビデンスを示してほしい。

教育委員会の行為、地域住民や在校生に対して、明らかに説明不足。説明責任を果たしてほしい。

在校生は入学するはずの1年生が入ってこないことでショックを受けている。その説明も後付けになってしまう。在校生の気持ちを考えてほしい。

鴻巣中央小学校への移転はやむを得ないが、笠原地区の市街化調整区域問題を至急改善し、住宅が建つように、議会、鴻巣市は努めるべきである。

廃校ではなく、休校とし、人口を増やして再び学校として復活させることを望む。笠原地区も高齢化が進んでいるため、田畑は管理する人がいなくなる。子どもたちが安心して帰ってこられるよう、住宅が建つよう、制度を変えたい。

廃校や廃止という言葉は地域の方もよく思わないので、統合というプラス発信でお願いしたい。新しく生まれ変わるような、川島町のような形で。

12月の議会では反対する方がいると思うが、反対する団体も2、3人だけの意見で動いているので、これからの保護者の思いを重視してもらいたい。

地域の声も大切にしているのは理解できるが、1番聞くべき声は、在校生の保護者や未就学児の保護者の声だと思う。

小学校は子どもの教育の場であることが、まず1番だと思うので、地域の年配の方の意見や地域に属さない一部の議員の声などはこの次として聞くべきではないか。

学区選択制以降、ほぼすべての児童が鴻巣北小学校へ通学している。若い世代は安養寺が笠原地区の一部という意識は非常に薄い。笠原小学校の閉校時は住所地で鴻巣北小学校への編入となる現実的な判断を期待している。旧笠原村地域を一律に鴻巣中央小学校へ編入とすることには反対。

そもそも行政として閉校したいのか否かが示されていない。笠原、郷地の保護者の意向で決まるかのような印象があり、地域住民間で遺恨を残しかねない状態。行政側の怠慢ではないか。目標を示し、強い力で住民を先導する姿勢を望む。

教育委員会の情報提供がない。廃校が決定したことも、初めて知った。情報提供が積極的でないことに不安・不信感がある。

意見交換会の会議録と同様に、この回答書も開示されることを望む。